

Mizuho Daily Market Report

2024/3/11

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.89	147.06	▲0.99	▲3.06
EUR	1.0934	1.0939	▲0.0009	+0.0102
AUD	0.6635	0.6624	+0.0004	+0.0097
SGD	1.3324	1.3311	▲0.0021	▲0.0128
CNY	7.1891	7.1873	▲0.0053	▲0.0095
MYR	4.6910	4.6835	▲0.0217	▲0.0625
THB	35.47	35.42	▲0.16	▲0.52
IDR	15597	15590	▲63	▲110
PHP	55.59	55.58	▲0.26	▲0.45
INR	82.79	82.79	+0.00	▲0.12
VND	24647	24651	▲39	+14

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.075%	▲0.8 bp	▲10.5 bp
日本(10年)	0.735%	+0.4 bp	+1.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.267%	▲3.9 bp	▲14.7 bp
オーストラリア(5年)	3.638%	▲3.3 bp	▲12.1 bp
シンガポール(5年)	2.958%	▲2.6 bp	▲9.2 bp
中国(5年)	2.205%	+0.0 bp	▲5.0 bp
マレーシア(5年)	3.552%	▲0.1 bp	▲3.4 bp
タイ(5年)	2.221%	▲1.5 bp	▲3.9 bp
インドネシア(5年)	6.483%	▲2.4 bp	▲1.7 bp
フィリピン(5年)	6.082%	▲0.2 bp	+0.1 bp
インド(5年)	7.054%	+0.0 bp	▲2.8 bp
ベトナム(5年)	1.700%	+0.0 bp	+5.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,722.69	▲0.2%	▲0.9%
N225(日本)	39,688.94	+0.2%	▲0.6%
STOXX50(ユーロ圏)	4,961.11	▲0.3%	+1.4%
ASX(オーストラリア)	4,194.47	▲0.3%	▲0.1%
FTSTI(シンガポール)	3,147.09	+0.4%	+0.4%
SSEC(中国)	3,046.02	+0.6%	+0.6%
SENSEX(インド)	74,119.39	+0.0%	+0.5%
JKSE(インドネシア)	7,381.91	+0.1%	+1.0%
KLSE(マレーシア)	1,539.86	+0.3%	+0.1%
PSE(フィリピン)	6,942.21	+1.5%	+0.3%
SETI(タイ)	1,386.42	+1.0%	+1.4%
VNINDEX(ベトナム)	1,247.35	▲1.7%	▲0.9%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	276.60	▲0.9%	▲0.2%
金	2,178.95	+0.9%	+4.6%
原油(WTI)	78.01	▲1.2%	▲2.5%
銅	8,487.27	▲0.7%	+0.8%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	146.10	—	147.90
EUR/USD	1.0890	—	1.1000
AUD/USD	0.6590	—	0.6690
USD/SGD	1.3250	—	1.3480
USD/CNY	7.1800	—	7.2280
USD/INR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	35.20	—	36.78
USD/IDR	15530	—	15800
USD/PHP	55.30	—	56.30
USD/INR	82.30	—	83.20
USD/VND	24,300	—	24,700

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は147円台後半でオープン。朝方は前日の流れを引き継ぎ売りが進んで一時147円台半ばまで下げるも、すぐに戻され148円近辺まで上昇した。その後は米国雇用統計を控えて動意薄く147円台後半を中心とした狭いレンジで推移し、そのままの水準で海外に渡った。アジア通貨は総じて上昇。米連邦準備理事会(FRB)が年内に利下げするとの期待が広がった。

海外市場のドル円は、日銀が3月のマイナス金利解除に傾いているとの報道を受け、円買いが優勢となり、147円台前半でNYオープン。NY朝方に発表された注目の米2月非農業部門雇用者数変化指数ヘッドラインが予想を上回り、発表直後は147円台半ばまで買われるも、直後に前回の結果が大幅下方修正された事や、失業率も予想より悪化している事が嫌気され、一転146円台半ばまで売り戻されるなど神経質な値動きが続く。その後は米金利が戻す展開に追随し、147円台前半まで反発。午後は米金利が上昇幅を縮小させる動きに伴い、147円台度付近まで小幅反落し、147円台前半でクローズ。

【金利】

米金利市場は、昨日に引き続き、中期ゾーンで特に金利低下し、イールドカーブはブルスティープ化した。市場注目の2月雇用統計が朝方に発表され、雇用者数変化のヘッドラインは予想を上回る数字となったが、製造業部門で予想を下回り、失業率も上昇したことから、内容を消化されるに従い、債券買い優勢となり、金利は低下。後半に売り戻しも見られたが、前日比では小幅の低下で終了。

【予想】

本日のドル円は上値の重い展開を予想。米2月非農業部門雇用者数変化指数が前回の数値が下方修正されたほか失業率が悪化するなど米利下げ期待が再度高まった上に、日銀の早期金融政策修正期待が高まっていることもあり、ドルの上値が重い展開が続くそう。次の注目材料は米CPIではあるが、仮に強い数値だとしても日銀の政策修正期待が高まっているなかでは、当面の戻し幅は限定的か。

【本日の予定】

(日本) 2月 マネーストックM2、M3
(日本) 2月 工作機械受注(速)
(日本) 4Q GDP(確)
(日本) 東日本大震災13年
(アジア) 2月 インドネシア 国内自動車販売
(アジア) 2月 中国 海外直接投資
(アジア) 休場 インドネシア
(欧州) 1月 西 小売売上高
(欧州) 2月 愛 不動産建設業PMI
(欧州) 2月 愛 新車登録台数
(欧州) 2月 独 卸売物価指数
(欧州) ユーロ圏財務相会合(ブリュッセル)
(米国) 2月 NY連銀1年インフレ期待
(米国) バイデン米政権が25会計年度予算教書を発表
(米国) 国債入札(3Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。